

松坂屋丸紅、
千總コレクションを中心に

特別展

京の 小袖

デザインにみる日本のエレガンス

2011年(平成23年)

10/29 [土]

12/11 [日]

前期:10月29日[土]~11月20日[日]

後期:11月22日[火]~12月11日[日]

月曜休館(ただし10月31日は臨時開館)

開館時間=午前10時~午後6時

(金曜日は午後7時30分まで)

※入館は閉館の30分前まで

【主催】京都市、京都文化博物館、

京都和装産業振興財団、毎日新聞社

【後援】第26回国民文化祭京都市

実行委員会、京都市、京都府教育

委員会、京都市教育委員会、

京都商工会議所、京都経済同友会、

京都府観光連盟、京都市観光協会、

歴史街推進協議会、NHK京都

放送局、KBS京都、エフエム京都

【協賛】野崎印刷紙業株式会社

THE
MUSEUM
OF KYOTO

京都文化博物館

Kyoto Kimono

—Inspired Grace and Elegance from Momoyama to Edo



まさに京都でしか 起こりえない奇跡

私たちが「きもの」と呼んでいる衣服の原型は、かつて「小袖」と呼ばれ、桃山時代から江戸時代にかけて、日本の服飾文化の中心的役割を担ってきました。京都には国内きよっての生産地として、常に最新の文様、最高の技術であつらえた小袖を日本中に送り出し、女性たちを美しく彩りました。

現在も京都には、伝統ある呉服商がひしめいています。

なかでも、株式会社千總、丸紅株式会社は、

質の高い染織資料のコレクションをもち、きもの制作に活用してきました。

名古屋が発祥である松坂屋百貨店(現株式会社大丸松坂屋百貨店)も、

京都の地においてコレクションを大切に管理してきました。

そしてこの秋、満を持して、三社の貴重なコレクションを

一堂に集めて、小袖の歴史を紹介するはこびとなりました。

これらのコレクションは、きもの制作のイメージソースとして

集められてきたものですから、公開の機会は、非常に限られていました。

これらが一堂に会する本展覧会は、まさに空前絶後といえるでしょう。

さらに、友禅染の名匠・五代田畑喜八氏をはじめとする

個人や寺社、美術館、博物館から貴重なコレクションを、ご出品いただき、

重要文化財五点を含む約一八〇点の染織文化財(展示替えの予定があります)を展覧して、

桃山時代から江戸時代にわたる小袖の時代絵巻を繰り広げます。

まさに京都でしか起こりえない奇跡です。ぜひお楽しみください。



表面
柳桜に奪文様小袖
やまのきもの(きもの)さんようまで
(前期:千總)

第7章

江戸時代—文化・文政期
「華」から「粋」へ

—洗練にむかう小袖文様

公家・武家・町方の好みの違いが歴然としてきます。華やかな婚礼衣装もお楽しみください。

毎
松菊折枝染文様小袖
やまのきもの(きもの)さんようまで
(前期:丸紅)

生
御簾に唐子遊文様振袖
やまのきもの(きもの)さんようまで
(前期:丸紅)

全7章でご紹介する 小袖の時代絵巻

第3章

江戸時代—寛文期
あふれる
明るさ

大きく弧を描いて流れる
寛文文様に
トップレイから庶民までが
熱狂した時代。
菊繋ぎ文様小袖
さくらんぼようこまで
(前期:松坂屋コレクション)

第1章

桃山時代
小袖文様の
革新

日本の服飾史の表舞台に
「小袖」がおどり出た時代。
たつぷりとした刺繍がみどころ。
辻が花の小袖も紹介します。

重要文化財
松鶴亀草花文様肩裾小袖
まつつかのめさくらんぼようこまで
(前期:京大津市立織物館)



第2章

江戸時代—慶長期
「緻密」への転換、
構図のダイナミズム

紅・黒の重厚な地色と、
抽象絵画の世界に遊ぶような
浮遊感の不思議な調和。
重要文化財
草花文様小袖
さくらんぼようこまで
(前期:田畑コレクション)



第4章

江戸時代—元禄期
豪華絢爛、
総文様の時代

咲き誇る町人文化を象徴するような、
あふれんばかりの総文様。
日本の文様染を代表する
友禅染もあらわれます。
菊花流水文様小袖
さくらんぼようこまで
(前期:京都きもの株式会社)



第6章

江戸時代—宝暦期
散らし文様の
しずけさ

紺や納戸色など、深い青の地色が主流。
白く染め残した文様に
わずかな友禅染や刺繍が映えて、
なんとも瀟洒です。
水立袖に本草文様小袖
まつたけのめさくらんぼようこまで
(前期:松坂屋コレクション)



第5章

江戸時代—享保・元文期
内省の美

美意識のターニングポイント。
「粋」の時代の予感、
落ち着いた地色が
好まれ始めます。
龍に萩と蕨文様小袖
かごにせせらぎようこまで
(後期:千總)

京の 小袖

特別展

デザインにみる日本のエレガンス

2011年(平成23年)

10/29 [土]

12/11 [日]

前期:10月29日[土]~11月20日[日]
後期:11月22日[火]~12月11日[日]

月曜休館(ただし10月31日は臨時開館)
開館時間=午前10時~午後6時
(金曜日は午後7時30分まで)
※入館は閉館の30分前まで

[主催] 京都府、京都文化博物館、
京都和装産業振興財団、毎日新聞社
[後援] 第26回国民文化祭京都府
実行委員会、京都市、京都府教育
委員会、京都市教育委員会、
京都商工会議所、京都経済同友会、
京都府観光連盟、京都市観光協会、
歴史街道推進協議会、NHK京都
放送局、KBS京都、エフエム京都
[協賛] 野崎印刷紙業株式会社

THE MUSEUM OF KYOTO

京都文化博物館

松坂屋丸紅
千總コレクションを中心に



時代を越えた美の競演がいま、はじまります。

桃山時代から江戸時代末期の小袖の美を一堂にご紹介します。
39日間限りの夢のような時間を、どうぞお見逃しなく。



左上から時計回りに:重要文化財 桐矢襖文様刷振(きりやぶすまもんようどうぶく)(後期:京都国立博物館)、松蔭に屏風文様小袖(まつぶしにびょうぶもんようこそで)(前期:個人)、松竹梅文様小袖(しょうちくばいもんようこそで)(後期:松坂屋コレクション)、源氏物語文様小袖(げんじものがたりもんようこそで)(前期:丸紅)、京名所文字文様小袖(きょうめいしよもんようこそで)(前期:松坂屋コレクション)、重要文化財 東襲斗文様振袖(たばねのしもんようふりそで)(通期:友禅史会)、御簾に松菘文様振袖(みすにまつはぎもんようふりそで)(通期:松坂屋コレクション)、山吹文様小袖(やまぶきもんようこそで)(前期:千總)、唐扇と花東文様帷子(とうせんとはなたばもんようかたびら)(前期:千總)、春景御所車御殿文様小袖(しゅんけいごしやぐるまごでんもんようこそで)(前期:千總)、梅樹に蝶翼斗文様小袖(ばいじゆにちようのしもんようこそで)(後期:松坂屋コレクション)

◎関連イベント

① 講演会 A

「小袖 — コンテンポラリーアートを着る」

講師: 切畑 健 本展覧会協力者、京都国立博物館名誉館員
2011年10月29日(土) 午後1時30分〜午後3時
会場: 当館3階フィルムシアター
定員: 170名
無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要です)

② 講演会 B

「京の小袖 — 展覧会のみどころ」

講師: 林 智子 当館学芸員
2011年11月26日(土) 午後3時〜午後4時30分
会場: 当館3階フィルムシアター
定員: 170名
無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要です)

③ ギャラリートーク

11月4日(金)・11月11日(金)・11月25日(金)・12月9日(金)
*各日とも午後6時から展示室内で行います。
事前申込み不要、当日の入場者に限ります。

会期中、着付け体験教室、和装ヘアアレンジ講座、ふろしきの包み方講座を開催します。
日程など詳細が決まり次第、当館ホームページなどでお知らせします。

※①②の申込み方法: 往復はがきに住所、氏名(返信面にも)、
電話番号、希望イベント名を明記し、京都文化博物館内「京の小袖展 講演会」係へ。
先着順。イベントごとに参加者1名につき、1枚のはがきでお申込みください。

入場料金	当日	前売	団体(20名以上)
一般	1,200円	1,000円	1,000円
大高生	800円	650円	650円
中小生	500円	400円	400円

前売券は、チケットぴあ(Pコード764-799)、ローソンチケット(Lコード56563)ほか、
京阪神主要プレイガイドで販売

※お得な前売券は2011年10月28日(金)までの期間限定発売
※10月29日(土)に限り、きもの姿の方は入場無料

THE MUSEUM OF KYOTO

京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
URL <http://www.bunpaku.or.jp>

交通案内

- 地下鉄「烏丸御池」下車、5番出口から三条通を東へ徒歩約3分
- 阪急「烏丸」下車、16番出口から高倉通を北へ徒歩約7分
- 京阪「三条駅」下車、6番出口から三条通を西へ徒歩約15分
- JR・近鉄「京都駅」から地下鉄へ
- 市バス「堺町御池」下車、徒歩約2分



国民文化祭・京都2011 日本最大の文化祭典
みんなの力で成功させよう!
京都府内全市町村で約70のフェスティバルを開催 平成23年10月29日(土) - 11月6日(日)





Inspired Grace and Elegance from Momoyama to Edo

松坂屋・丸紅・千總コレクションを中心に

特別展

京の小袖

—デザインにみる日本のエレガンス

◎京都文化年、国民文化祭・京都2011関連事業

2011年 10/29 [土] → 12/11 [日] 前期 = 10月29日(土) ~ 11月20日(日) 後期 = 11月22日(火) ~ 12月11日(日)

開館時間 = 午前10時 ~ 午後6時 * 全曜日は午後7時30分まで(入場はそれぞれ30分前まで) 休館日 = 月曜日(祝日は開館、翌日休館) ※10月31日(月)は臨時開館

主催者 = 京都府、京都文化博物館、京都和装産業振興財団、毎日新聞社 協賛 = 野崎印刷紙業株式会社

後援 = 第26回国民文化祭京都府実行委員会、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都経済同友会、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都



京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三條高倉
TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
URL <http://www.bunpaku.or.jp>

特別展 京の小袖

— デザインにみる日本のエレガンス
松坂屋・丸紅・千鶴コレクションを中心に

出品リスト

Kyoto Kimono

— Inspired Grace and Elegance from Momoyama to Edo

京都文化博物館

前期：10月29日(土)～11月20日(日)
後期：11月22日(火)～12月11日(日)

1/3期：10月29日(土)～11月13日(日)
2/3期：11月15日(火)～11月27日(日)
3/3期：11月29日(火)～12月11日(日)

番号	作品名	年代	所蔵者	前期	後期	展示期間
----	-----	----	-----	----	----	------

第1章 桃山時代 小袖文様の革新

1	重要文化財 松鶴亀草花文様肩裾小袖	桃山時代	泉大津市立織編館	●	●	通期
2	段替り貝草花文様小袖裂	桃山時代	松坂屋コレクション	●	●	通期
3	重要文化財 桐矢襖文様胴服	桃山時代	京都国立博物館		●	後期
4	鳥取りに柳文様小袖裂	桃山時代	丸紅株式会社		●	後期
5	花菱亀甲散らし文様小袖	桃山時代		●		前期
6	白綾小袖	桃山時代		●		前期
7	縞に檜垣文様小袖	桃山時代		●		前期
8	円散らしに人物文様小袖裂	桃山時代	松坂屋コレクション	●	●	通期
9	松皮取りに菊桔梗と藤椿文様小袖裂	桃山時代	瑞泉寺	●		前期
10	紫陽花文様小袖裂	桃山時代	誓願寺		●	後期
11	段に草花と円梅文様寄せ裂小袖	桃山時代			●	後期

第2章 江戸時代 - 慶長期 「緻密」への転換、構図のダイナミズム

12	重要文化財 染分松皮菱取り文様小袖	江戸時代初期	京都国立博物館		●	後期
13	重要文化財 草花文様小袖	江戸時代初期	田畑コレクション	●		前期
14	山に屏風文様小袖裂	江戸時代初期	松坂屋コレクション	●		前期
15	松藤に屏風文様小袖	江戸時代初期		●		前期
16	梅樹に蕨文様小袖裂	江戸時代初期	松坂屋コレクション		●	後期
17	熨斗に雲の円文様小袖	江戸時代初期	松坂屋コレクション		●	後期
18	雪持ち柳に草花文様小袖	江戸時代初期	松坂屋コレクション	●		前期
19	山に松竹鶴亀蕨文様小袖裂	江戸時代初期	松坂屋コレクション	●		前期
20	唐松に桜文様小袖裂	江戸時代初期	松坂屋コレクション		●	後期
21	石畳に小花文様小袖裂	江戸時代初期	松坂屋コレクション	●	●	通期
22	雪輪に草花文様腰巻裂	江戸時代中期	名古屋市博物館	●		前期
23	雪輪に草花文様腰巻裂	江戸時代中期	名古屋市博物館		●	後期
24	三龍胆車に草花文様振袖	江戸時代初期	法隆寺	●	●	通期

第3章 江戸時代 - 寛文期 あふれる明るさ

25	瓶垂れ文様小袖	江戸時代前期	株式会社千鶴	●		前期
26	竹に雪花文様小袖	江戸時代前期			●	後期
27	牡丹に匂袋文様小袖	江戸時代前期	丸紅株式会社		●	後期
28	柳桜に箏文様小袖	江戸時代前期	株式会社千鶴	●	●	通期
29	菊繋ぎ文様小袖	江戸時代前期	松坂屋コレクション	●	●	通期
30	藤棚に青海波文様小袖	江戸時代前期	松坂屋コレクション	●	●	通期
31	藤の丸に松文様小袖	江戸時代前期	松坂屋コレクション	●		前期
32	雪輪と若松竹文様小袖	江戸時代前期	田畑コレクション		●	後期

第4章 江戸時代 - 元禄期 豪華絢爛、総文様の時代

4-1 元禄文様

33	御簾と透垣に松文様帷子	江戸時代中期	田畑コレクション	●		前期
34	波に海松貝文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
35	籬に梅文様小袖	江戸時代中期	株式会社千鶴	●		前期
36	松竹梅文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
37	籬に菊文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
38	梅に貝文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション	●		前期
39	梅樹文字文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
40	椿樹文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期

番号	作品名	年代	所蔵者	前期	後期	展示期間
41	矢来に桜扇文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
42	四季花籠文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション	●		前期
43	格子に花の丸文様小袖	江戸時代中期	丸紅株式会社	●		前期
44	楓忍草に文字文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
45	梅に元結散らし文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
46	梅樹文様小袖	江戸時代中期	丸紅株式会社		●	後期
47	岩に松藤文様小袖	江戸時代中期	丸紅株式会社		●	後期
48	瀧に楓樹扇文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション	●		前期
49	瀧に松と文字文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション	●		前期
50	菊花流水文様小袖	江戸時代中期	京都市もの株式会社	●		前期
51	御簾に梅文様小袖	江戸時代中期	丸紅株式会社	●		前期
52	格子に梅樹秋草文様帷子	江戸時代中期	松坂屋コレクション	●		前期
53	松竹梅に檜扇文字文様振袖	江戸時代中期	田畑コレクション		●	後期

4-2 友禅染

54	藤棚に菊文様小袖	江戸時代中期	丸紅株式会社	●		前期
55	瀧に牡丹文字文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
56	雪柴垣に梅文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
57	櫻と菊青海波に梅文様振袖	江戸時代中期	丸紅株式会社		●	後期
58	松皮地に梅文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
59	源氏物語文様小袖	江戸時代中期	丸紅株式会社	●		前期
60	幔幕に梅葵文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
61	山瀧楓と吹寄文字文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション	●		前期
62	波に梅文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション	●		前期
63	近江八景文様小袖裂	江戸時代中期	丸紅株式会社		●	後期
64	京名所文字文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション	●		前期
65	格子に端午文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション	●		前期
66	近江八景文様帷子	江戸時代中期	田畑コレクション	●		前期
67	三保松原文様単衣	江戸時代中期～後期	松坂屋コレクション		●	後期
68	花鳥文様帷子	江戸時代中期～後期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)	●	●	通期
69	宝舟宝尽し文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
70	掛物尽し文様小袖裂	江戸時代中期～後期	田畑コレクション	●		前期
71	重要文化財 束熨斗文様振袖	江戸時代後期	友禅史会	●	●	通期

4-3 光琳文様

72	松樹文様帷子	江戸時代中期	奈良県立美術館	●		前期
73	梅樹に扇面散らし文様小袖	江戸時代中期	奈良県立美術館		●	後期
74	巻絹文様振袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション	●	●	通期
75	御簾に松菘文様振袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●	●	通期
76	菊文様間着	江戸時代後期	奈良県立美術館	●	●	通期

第5章 江戸時代 - 享保・元文期 内省の美

77	岩に水葵文様小袖	江戸時代中期	松坂屋コレクション	●		前期
78	八重葎に矢来蕙文様小袖	江戸時代中期～後期	松坂屋コレクション		●	後期
79	籬に萩と笹文様小袖	江戸時代中期	株式会社千總		●	後期
80	山吹文様小袖	江戸時代中期	株式会社千總	●		前期
81	流水に扇楓文様小袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●		前期
82	段に木賊花菟文様小袖	江戸時代中期～後期	京都国立博物館	●		前期
83	木賊に作土文様小袖	江戸時代中期～後期	丸紅株式会社	●		前期
84	春草文様小袖	江戸時代中期～後期	丸紅株式会社		●	後期
85	竹に君が代文様小袖	江戸時代中期～後期	松坂屋コレクション		●	後期
86	麻の葉に枝垂れ桜文様小袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●		前期

第6章 江戸時代 - 宝暦期 散らし文様のしずけさ

87	楓樹文様小袖	江戸時代中期～後期	松坂屋コレクション	●		前期
88	鉄線唐草文様小袖	江戸時代中期～後期	松坂屋コレクション		●	後期
89	葛屋に水葵文様小袖	江戸時代中期～後期	松坂屋コレクション		●	後期
90	水立涌に水草文様小袖	江戸時代中期～後期	松坂屋コレクション	●		前期
91	秋草に蝶文様振袖	江戸時代中期～後期	丸紅株式会社	●		前期
92	雪持芒に蕙霞文様小袖	江戸時代中期～後期	株式会社千總	●		前期
93	蕙と杜若文様小袖	江戸時代中期～後期	株式会社千總	●		前期
94	梅樹文様小袖	江戸時代中期～後期	松坂屋コレクション	●		前期

番号	作 品 名	年 代	所 蔵 者	前 期	後 期	展示期間
95	曳舟文様小袖	江戸時代中期～後期	丸紅株式会社		●	後期
96	松の島原褌文様小袖	江戸時代後期	株式会社千總		●	後期
97	松島に帆舟文様小袖	江戸時代後期	株式会社千總		●	後期
98	松原に飛鶴文様小袖	江戸時代後期	株式会社千總		●	後期
99	鴛鴦水景文様小袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション		●	後期
100	牧童草刈り文様小袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション		●	後期
101	山水唐松文様小袖	江戸時代後期	丸紅株式会社	●		前期
102	塩電文様小袖	江戸時代中期～後期	松坂屋コレクション		●	後期

第7章 江戸時代 - 文化・文政期 「華」から「粋」へ 洗練にむかう小袖文様

7-1 江戸時代後期の小袖

103	隠れ蓑に宝尽し文様小袖	江戸時代後期	田畑コレクション		●	後期
104	粟玉文様振袖	江戸時代後期	株式会社千總	●	●	通期
105	几帳に檜扇散らし文様振袖	江戸時代後期	株式会社千總	●		前期
106	御簾に唐子遊文様振袖	江戸時代後期	丸紅株式会社	●		前期
107	尾花に立雛文様振袖	江戸時代後期	丸紅株式会社		●	後期
108	梅樹に飛鶴島原褌文様打掛	江戸時代後期	株式会社千總	●	●	通期
109	寄古裂島原褌文様間着	江戸時代末期	株式会社千總		●	後期
110	四季田園文様振袖	江戸時代末期	松坂屋コレクション	●		前期

7-2 御所解文様

111	杜若に八橋文様小袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション		●	後期
112	杜若に燕文様振袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●		前期
113	源氏物語文様打掛	江戸時代後期	丸紅株式会社		●	後期
114	春景御所車御殿文様小袖	江戸時代後期	株式会社千總	●		前期
115	源氏物語文様帷子	江戸時代後期	松坂屋コレクション		●	後期
116	瀟春景文様単衣	江戸時代後期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)	●		前期
117	鉢木文様帷子	江戸時代後期			●	後期
118	水辺芦刈文様打掛	江戸時代後期	丸紅株式会社	●		前期
119	石橋文様振袖	江戸時代後期	丸紅株式会社	●		前期
120	宇治風景文様小袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション		●	後期
121	宇治風景文様単衣	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●		前期
122	琴棋書画文様小袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション		●	後期
123	雪中孟宗物語文様小袖	江戸時代後期	株式会社千總		●	後期
124	水辺雪景文様小袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●		前期
125	流水に秋草文様小袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●		前期
126	四季草花流水文様帷子	江戸時代後期	丸紅株式会社		●	後期
127	四季草花盆栽文様帷子	江戸時代中期～後期	丸紅株式会社		●	後期
128	楼閣苑地文様帷子	江戸時代中期～後期	松坂屋コレクション		●	後期
129	楼閣庭園文様帷子	江戸時代中期～後期	松坂屋コレクション	●		前期
130	近江八景文様帷子	江戸時代中期～後期	松坂屋コレクション	●		前期
131	檜扇小花文様腰巻裂	江戸時代中期	松坂屋コレクション		●	後期
132	七宝繋ぎに橋文様腰巻裂	江戸時代後期	松坂屋コレクション		●	後期
133	宝尽し松竹梅文様腰巻	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●		前期
134	宝尽し文様腰巻	江戸時代後期	松坂屋コレクション		●	後期
135	花亀甲と七宝繋ぎに松竹梅飛鶴文様腰巻	江戸時代後期	仁和寺	●		前期
136	立木の菊に文字文様小袖	江戸時代後期	株式会社千總	●		前期
137	薔薇立木に文字文様小袖	江戸時代後期	株式会社千總		●	後期
138	雪持ち南天に文字文様帷子	江戸時代後期	株式会社千總	●		前期
139	桜に君が代文様小袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション		●	後期
140	流水に花筏文様打掛	江戸時代後期	株式会社千總		●	後期
141	唐扇と花束文様帷子	江戸時代後期	株式会社千總	●		前期
142	藤菱に尾長鳥文様打掛	江戸時代後期	株式会社千總		●	後期
143	菊牡丹花束に斜立涌文様打掛	江戸時代後期	丸紅株式会社	●		前期

7-3 公家女性の小袖

144	楓に時雨文字文様帷子	江戸時代後期		●		前期
145	錦附帯	江戸時代後期		●		前期
146	夜桜に鷺文様帷子	江戸時代後期	京都国立博物館		●	後期
147	雲菱菊散らし文様帷子	江戸時代後期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)	●	●	通期
148	垣柳桜松文様掻取	江戸時代後期	奈良県立美術館		●	後期
149	籬に菊椿燕文様掻取	江戸時代後期	田村資料館	●		前期

番号	作品名	年代	所蔵者	前期	後期	展示期間
150	雨中鷺と網干梅文様振袖 (小裁)	江戸時代後期	株式会社千總	●	●	通期
151	柴垣燕子に燕文様帷子	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●	●	通期
152	椿桜に蝙蝠文様帷子	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●	●	通期
153	桜菊折枝蝶文様小袖	江戸時代後期	丸紅株式会社	●		前期
154	柳梅御簾文様単衣	江戸時代後期	丸紅株式会社		●	後期

7-4 吉祥文様の小袖

155	橘謡本文様振袖 (白)	江戸時代後期	丸紅株式会社	●		1/3期
156	橘謡本文様振袖 (紅)	江戸時代後期	丸紅株式会社	●		1/3期
157	橘謡本文様振袖 (黒)	江戸時代後期	丸紅株式会社	●		1/3期
158	几帳文様振袖 (白)	江戸時代後期	京都きもの株式会社		●	2/3期
159	几帳文様振袖 (紅)	江戸時代後期	京都きもの株式会社		●	2/3期
160	几帳文様振袖 (黒)	江戸時代後期	京都きもの株式会社		●	2/3期
161	几帳文様振袖 (白)	江戸時代後期			●	3/3期
162	几帳文様振袖 (紅)	江戸時代後期			●	3/3期
163	几帳文様振袖 (黒・復元)		染技連小袖研究会		●	3/3期
164	腰替り千羽鶴文様振袖	江戸時代後期	京都国立博物館	●		前期
165	源氏車に蕩葵文様振袖	江戸時代後期	丸紅株式会社		●	後期
166	松竹梅鶴亀文様振袖	江戸時代後期	丸紅株式会社		●	後期
167	梅樹に蝶熨斗文様小袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション		●	後期
168	竹文様振袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション		●	後期
169	貝桶文様振袖	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●		前期
170	松竹梅七宝繋亀甲繋文様振袖	江戸時代後期	田畑コレクション	●		前期
171	注連縄に海老飾り文様打掛	江戸時代後期	株式会社千總	●		前期

帯・絵画作品

172	桜筏文様帯	江戸時代中期	奈良県立美術館	●		前期
173	桐鳳凰花丸文様帯	江戸時代中期	奈良県立美術館		●	後期
174	花蝶丸文様帯	江戸時代中期	奈良県立美術館		●	後期
175	二引輪違い草花文様掛下帯	江戸時代後期	奈良県立美術館	●	●	通期
176	蜀江文様掛下帯	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●	●	通期
177	浪に鯉文様掛下帯	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●	●	通期
178	格子文様掛下帯	江戸時代後期	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)	●	●	通期
179	誰が袖図屏風 (六曲一雙)	江戸時代前期	松坂屋コレクション		●	後期
180	誰が袖図屏風 (六曲一雙)	江戸時代後期	松坂屋コレクション	●		前期
参1	段文様片身替り肩裾辻が花小袖		永井織物株式会社		●	後期
参2	白練質地肌付		永井織物株式会社		●	後期
参3	紅練質地小袖		永井織物株式会社		●	後期
参4	雲と草花文様片身替り肩裾縹箔小袖		永井織物株式会社		●	後期
参5	菊桐文様縹小袖		永井織物株式会社		●	後期
参6	立涌に丸に菊花文様唐織打掛		永井織物株式会社		●	後期
参7	菊文様縹箔帯		永井織物株式会社		●	後期
参8	州浜に円尽し梅枝文様肩裾小袖		染技連小袖研究会	●		前期
参9	白間着		染技連小袖研究会	●		前期
参10	縹文様帯		染技連小袖研究会	●		前期
参11	水仙と椿文様小袖		染技連小袖研究会		●	後期
参12	紺地縹文様小袖		染技連小袖研究会		●	後期
参13	黒地石畳文様帯		染技連小袖研究会		●	後期
参14	竹の手綱にのうせんかずら文様小袖		染技連小袖研究会	●		前期
参15	縹文様片身替り小袖		染技連小袖研究会	●		前期
参16	金銀石畳文様帯		染技連小袖研究会	●		前期

京都文化博物館

特別展「京の小袖 - デザインにみる日本のエレガンス」

前期：10月29日(土)～11月20日(日)

後期：11月22日(火)～12月11日(日)

1/3期：10月29日(土)～11月13日(日)

2/3期：11月15日(火)～11月27日(日)

3/3期：11月29日(火)～12月11日(日)

Kyoto Kimono
—Inspired Grace and Elegance from Momoyama to Edo—